

教育委員会だより

大方中学校

心豊かで、たくましく、
意欲を持って学ぶ生徒に

校長 吉良 茂明



本校では、文科省地域指定事業として「キャリアアスタートウィーク推進事業」と「豊かな体験活動推進事業」の二つの指定を受け、現在その取り組みを行っています。
生徒は総じて明るく活発であり、学校行事や部活動ではすばらしい活躍を見せてくれます。一方、学校での生活面や学習面では多くの課題があり、その課題克服に向けての取り組みを進めています。その一端を紹介させていただきます。

◆キャリアアスタートウィーク推進事業

実際に5日間「各職場での労働体験」を行い、その中で、働くことへの感謝や働く人々の思いに触れ、自らの進路を考え、主体的に判断する態度や能力を育むことを目的としています。

◆豊かな体験活動推進事業

誠心園との交流（1年生）
誠心園との交流は1年生で実施しています。今年は11月に行う予定です。

福祉体験活動（1年生）
高齢者疑似体験を実施し、福祉についての学習を深めました。

交流体験（1年生）
国際理解の一環として、ニュージーランド生徒との交流を図りました。

町内一斉清掃活動
(全学年・全小・中・高等学校)

黒潮クリーン大作戦として6月18日、町内小・中・高等学校生徒全員で地域の清掃活動を行いました。

ホエールウォッチング

毎年6月3年生において実施しています。地域の豊かな自然の恵みに感謝し、自然のもとで働く大変さを知り、地域の観光産業や地域のすばらしさを知ることが目的に実施しています。

その他にも、職業フォーラム（2年生）、保育実習、希望者による誠心園祭りでのボランティア活動（3年生）などを実施しています。

◆学力向上対策について 生徒指導の充実について

昨年度未実施したCRT（到達度把握検査）の結果（下の表参照）を見る限りでは、わが校の学力は決して高いとはいえません。本校でも、全国的な傾向といわれている学力の二極化の傾向が見られます。CRTの結果だけで学力を測ることはできませんが、結果は結果として謙虚に受け止めなければなりません。

そういったわが校の実態や課題をふまえ、本年度、次のような取り組みをしています。

- 学級・学年経営の充実(学校生活を安定、充実したものに)
- 学習規律の徹底
- 生徒指導・生活指導の充実
- 自主学習ノートや生活日記の指導
- 1年生集団宿泊訓練において家庭学習の仕方のコミュニケーション体験
- 週4日終学活の時間の中に加力学習の時間(大中タイム)を設定
- 数学において3年生では分割授業、1・2年生ではT・Tによる授業を実施。英語は全学年でT・Tでの授業を実施
- *T・T(ティームティーチング)とは、複数の教師で指導すること
- 学校裁量時間を学年別学力補充時間(学年タイム)として年間20時間程度確保
- 朝読書の取り組み
- 授業公開、研究授業を通じての授業改善…など

学校教育の場では、知・徳・体のバランスのとれた教育を

進めていくことが大切であることはいうまでもありません。また、今、生徒たちに特に求められている能力として、人間関係形成、将来設計、情報活用、意志決定などの能力、また家庭におけるコミュニケーションが大切であるともいわれています。それらの能力育成の基礎となるのはやはり学校生活の安定・充実と基礎学力です。一時間一時間の授業や日々の生活を大切にしていきたいものです。

平成18年度 学年別CRT結果表

	1年(現2年生)			2年(現3年生)			3年(現高校1年生)		
	校内	全国	全国比	校内	全国	全国比	校内	全国	全国比
国語	64.8	69.3	0.94	68.8	74.8	0.92	56.5	67.0	0.84
数学	61.7	61.3	1.01	46.0	61.2	0.75	54.4	65.5	0.83
英語	56.0	68.0	0.82	53.0	65.0	0.81	52.0	63.0	0.81
社会	59.6	62.5	0.95	57.5	62.9	0.91	52.0	63.0	0.83
理科	52.0	67.0	0.78	52.6	71.7	0.74	55.1	74.3	0.74

佐賀小学校

たくましく心豊かな

児童の育成

校長 芝藤 邦美

はじめに

本校は、「たくましく、心豊かな児童の育成」を教育目標に掲げ、校章の「おがたま」にあやかっただ、おもいやる子・がんばる子・たくましい子・まなぶ子を児童像とし、保護者や地域との共育にみんなで取り組んでいる。学級数8、児童数117名、教職員数15名の学校です。

学力向上への取り組み

佐賀地区では、土佐の教育改革の取り組みと並行して、保・小・中が連携し、「子どもたちに基礎学力、学びの意欲、そして進路を切り拓く力を育もう」と保・小・中・家庭・地域の役割の自覚と責任、そしてそれぞれのつながりを目指し、①保育・授業の改善②基本的生活習慣の定着③小・中の壁の克服④支え合う仲間づくり⑤自尊感情の醸成を『地域ぐるみ教育』で推進してきた経緯があります。

その要因として、取り組み当初に実施したCRT（到達度把握検査）や生活実態調査で、①家庭学習、読書、基本的生活習慣が身に付いていると学力が高い②授業での充実感があると学力が高い③国語の定着率が高いと数学・英語も高いという学力と生活との相関関係が判明した。また、①自己評価、自己肯定感自己表現、学びの意欲が低い②家庭学習、読書、基本的生活習慣が身に付いていない③国語の力、考える力、興味・関心・態度が弱いなどの教育の課題が明らかになり、これらの解決に向けて地域ぐるみで取り組む重要性が確認されたからです。

生活リズム・習慣形成に向けて

佐賀小学校児童の1日

● 8時から授業前の朝マラソン(校庭5周)があり、8時

10分から始業です。まず10分間朝読書をしめます。低学年では週1回は読み聞かせをしています。6年生がしてくれることもあります。計算タイム、朝の会の後、40分から1時間目が始まります。午前中は20分休みを挟んで12時15分までです。午後は、13時35分から清掃活動です。50分からの10分間の漢字タイム後に午後の授業です。終業の時間は学年によって異なりますが、放課後活動を経て、4時30分に集団下校となっています。

佐賀つ子学習10の約束

- 1 チャイムを守る
- 2 話す人の方を向いて聴こう
- 3 自分の思ったことをしっかりと相手に伝えよう
- 4 下敷きを使おう
- 5 鉛筆を使い、正しく持とう
- 6 線を引く時は定規を使おう
- 7 文字は丁寧に書こう
- 8 机などに落書きをしないようにしよう
- 9 次の時間の準備をしよう
- 10 家庭学習をしよう

また、PTA活動の「早ね・早おき・朝ごはん運動」とも重なりますが、就寝・起床、TV・ゲーム、家庭学習の到達目標時間達成への、家庭と連携した取り組みもあります。

授業改善の取り組み

「互いに認め合い、励まし合える集団づくりを通して」の副主題「話をよく聞き、自分の考えをしっかりと伝える児童の育成」の研究主題を設定して、校内研究を行なっています。今年度も県教委から「教えの喜び伝承モデル事業」の指定を受け「できるから楽しい授業の創造」をテーマに、先生方の授業力向上に取り組んでいます。

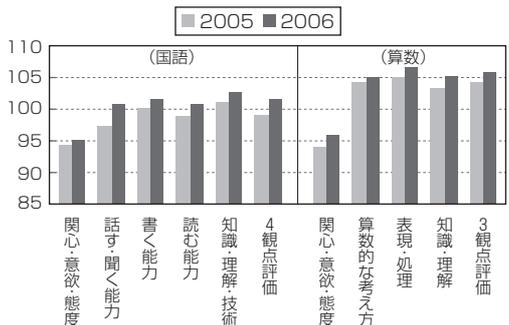
教科書文をスラスラ読む「音読」、繰り返し練習を促す「計算・九九」などで、知識・理解や技能の力を向上させることは小学校段階で重要ですので「できる」ことの基礎基本の徹底も図っていますが、最近課題とされていることに「コミュニケーション力」不足があります。本校でも、国語科の「話すこと・聞くこと」に弱さがあります。そこで、「読む・聞

く・話す・書く」の学習活動を児童同士のかかわり合いで展開する授業を構築していけば、児童主体で「わかったからできるようになった、だからもっとやってみよう」と思うようになり、また、友だち同士の意見や考えの交流は、自己認識を深め、他者理解ができるのではないかと想定して授業づくりを行っています。

おわりに

左のグラフは、過去2年間の全校CRT結果です。関心・意欲・態度がまだ100になつていませんが、どの領域も徐々にあがってきているのは地域ぐるみ教育の成果ではないかと思えます。

観点別CRT全国通過率比(全国を100とする)全校集計



【お詫びと訂正】広報くろしお10月号(8頁2段目)「教育委員会だより」田ノ口小学校・CRTの結果表は、上段部分が国語、下段部分が算数の間違いでした。お詫びして訂正いたします。